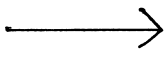
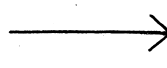


高慢



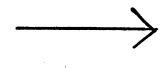
自分がすぐれていると
思いあがって、人を見下す

自慢



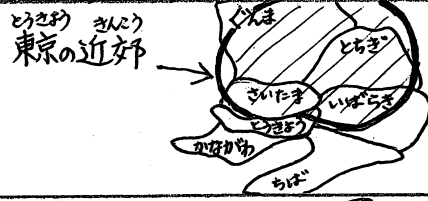
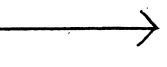
自分に関することを自ら
よいと認め、得意に
なって他人に示すこと。

郊外



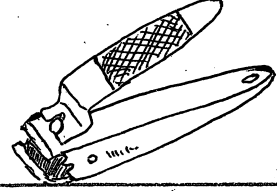
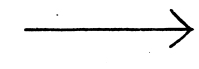
市街地に隣接して
地域。まちはずれ。

近郊



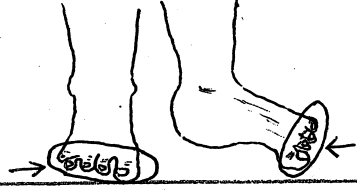
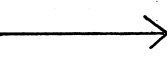
都市に近い地域
としちかちいき

爪切り



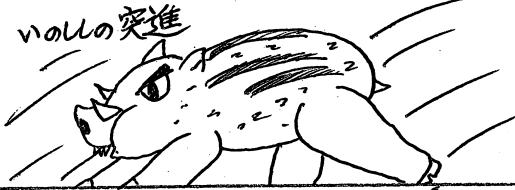
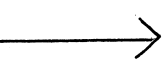
つめの先を切る道具

爪先



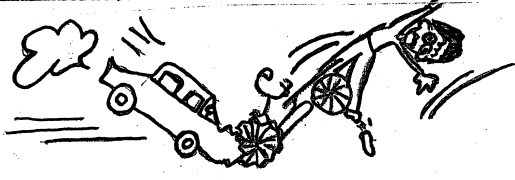
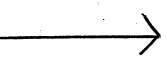
足の指の先

突進



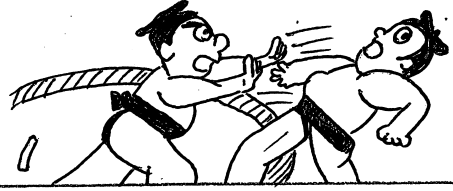
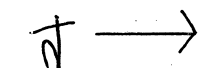
いきおいよくまっぐらに
つき進むこと
村

追突



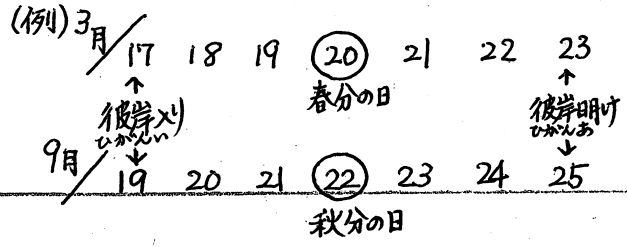
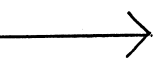
の乗り物などが後ろから
突きあたること

突き出す



突いて外に出す

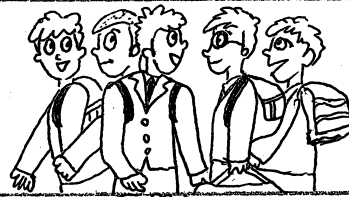
彼岸



春分の日、秋分の日
を中日とする各7日間

かれ
彼ら →

「彼らは新入生です」
かれ しんにやうせい



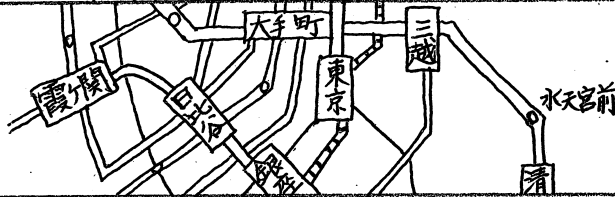
ひと
あの人たち

かの じよ
彼女 →



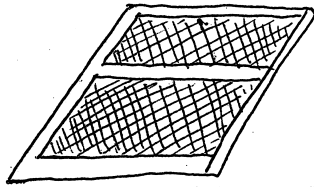
あいて じよせい
相手の女性を
さしめすことば

てつどう もう
鉄道網 →



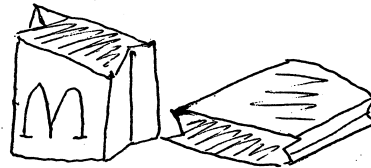
あひめ おお
網の目のように多くの
地点に通じている鉄道
ちん けつ どう

あみ ど
網戸 →



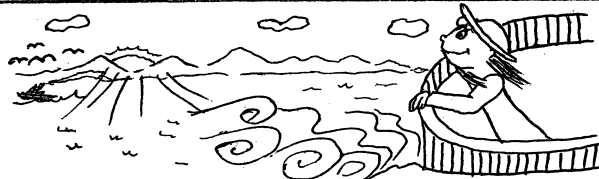
おし しんやう ふせ ため
虫の侵入を防ぐ為に
あみ ほ つか と
網を張って作った戸

かみ ぶくろ
紙袋 →



かみ つく
紙で作ったぶくろ

ちやう ぼう
眺望 七月 →



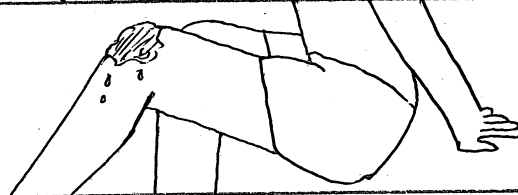
ひろ ほど
広く遠くまで
見渡すこと。
み わた

なが い
眺め入る →



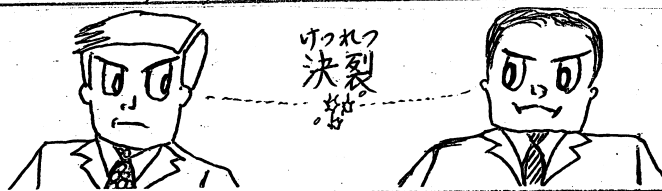
ねっしん
熱心にながめる

れつ しょう
裂傷 →



さ
ひふなどが裂けて
できたきず

けつ れつ
決裂 →



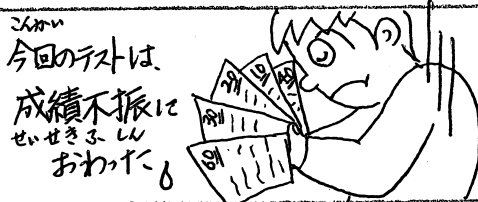
いけん
意見がまとまらず
物別れになること
けつ れつ

さ れつ
裂け目 →



さ
裂けたところ

ふ しん
不振 →



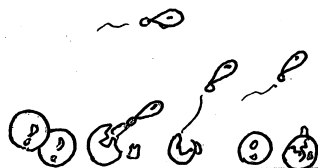
いきお
勢いがふるわないこと

はり ふ
針が振れる →



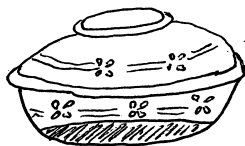
はり
針がゆれうごくこと

ち きよ
稚魚 →



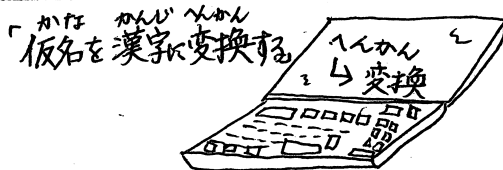
たまご
卵からかえて
間もない魚
ま さかな

ど なべ
土鍋 →



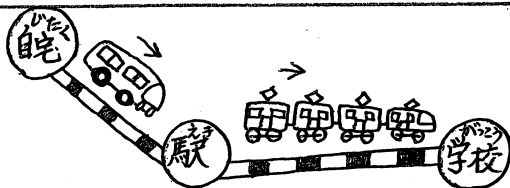
つちや なべ
土焼きの鍋

へん かん
変換 →



べつ かん
別のもので変えること。

の か
乗り換え →



の ちば
乗りものや立場などを
乗りか
乗り換えること

げん まい
玄米 →



もみがらを取りのぞいた
だけで、まだ精米していない
せいまい 米のこと

げん かん
玄関 →



しゅよう
たてものの主要な
出入口
でいりぐち

あい さつ
挨拶 →



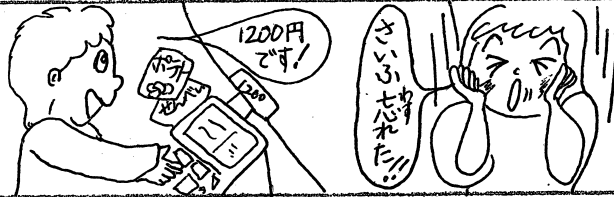
ひと あ わか
人に会ったり別れたりするとき
れいぎ ことば
礼儀的に取りかた言葉や
動作(どうさ)

は い
恥じじる →



は おも
たいはん 恥じずかしいと思
うこと。

はい
恥をかく →



はずかしいと思うこと。

ち じやく
恥辱 →

「ち じやく を う ける」



たいめん めいよ
体面や名誉を
けが
汚すこと

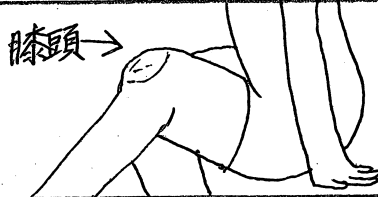
あし こし
足腰 →



じょうはん さ
上半身を支える

足と腰
あし こし

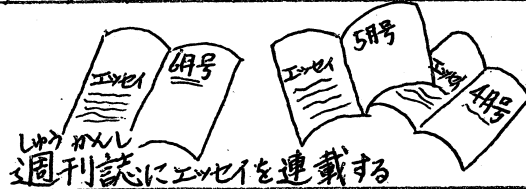
ひざ がしら
膝頭 →



かんせつ ぜんぶ
ひざの関節の前部。

ひざ小僧。

れん さい
連載 →



しんぶん まし ぶ
新聞・雑誌などに続きもの

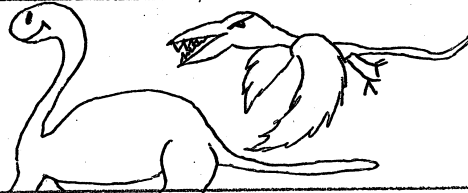
としてけいさいすること

ほん の
本に載る →



ほん か
本に書かれる。

きょう りゆう
珮竜 →



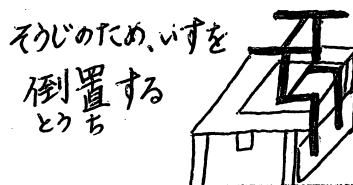
せうめつ けいせい
絶滅して陸生の
はちゅう類の一群
あ いぐん

おそ
珮心ろしさ →



身のきけんを感じ、
いたたまれなくなる気持ち
である。こわさ。

とう ち
倒置 →



もの
物をさかさまの位置に
おくこと。

よこ だお
横倒し →



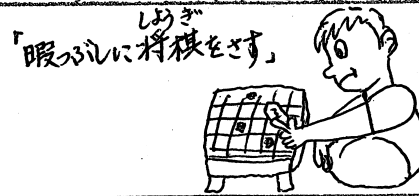
よこ
横にたおすこと

きゅう か
休暇 →



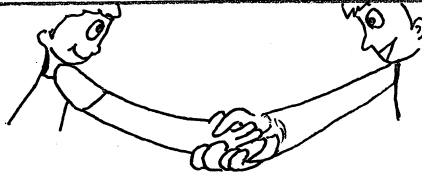
がっこう かいしゃ かんわの こうてき
学校・会社・官府などで公的に
認められた授業や業務のない日。
休 暇

ひま
暇つぶし →



ひまな時間をできごとに使って
過ごすこと。

あく しゅ
握手 →



あいづつ しんあい わかい
挨拶として、また親交・和解のしるしと
して、手を握りあうこと。
て には

にぎ
握りしめる →



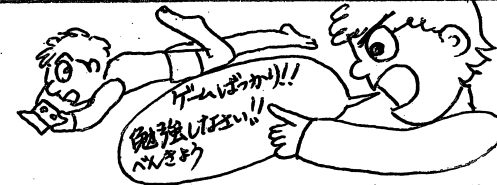
て ちからい び
手に力を入れて強くにぎる

しつ せき
叱責 →



「自転車の2人乗りだけいさる官に叱責を受ける」
たんに かつ ぶせい
他人の過失・不正などを
しかりとがめること。

しか
叱りどばす →



あらあら しか
荒々しく叱りつける